

Appendix 3

IAR Embedded Workbench と IAR J-Link を使った

統合開発環境と JTAG エミュレータを使った 付属 ARM マイコン基板のデバッグ方法 土居 敬治



統合開発環境 IAR Embedded Workbench (以下 EW) と JTAG エミュレータ IAR J-Link を使って付属 ARM マイコン基板をデバッグする方法を解説します。

付属 ARM マイコン基板と IAR J-Link の接続のようすを写真 1 に示します。

ここでは、LED を点滅させるプログラムを、付属 ARM マイ

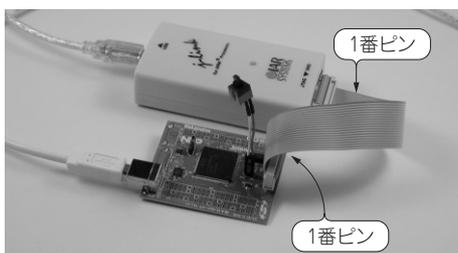


写真 1
付属 ARM マイコン基板と IAR J-Link の接続

コン基板の内蔵フラッシュ ROM にダウンロードして動かします。プログラムのプロジェクト一式は、あらかじめ任意の場所にコピーして保存しておいてください。

● IAR Embedded Workbench の準備

「スタート」メニューから、「プログラム」→「IAR Systems」→「IAR Embedded Workbench for ARM Kickstart」→「IAR Embedded Workbench」を選択し、EW を起動します。

図 1 のダイアログが現れるので、「既存のワークスペースを開く」を選択します。

「ワークスペースを開く」ダイアログで「Interface.eww」を選択し、「開く」ボタンをクリックします (図 2)。



図 1
既存のワークスペースを開くを選択

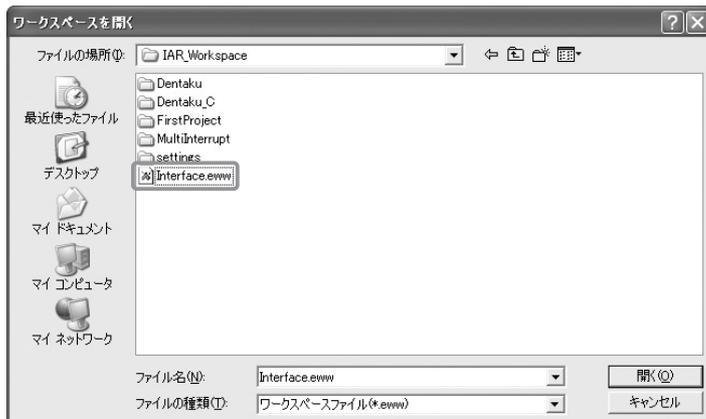


図 2 Interface.eww を選択

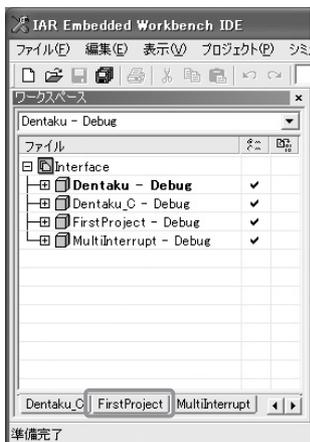


図 3
FirstProject を選択



図 4 FirstProject のオプション